

もう一度行きたい  
リードリー



和田綾さん  
(海善寺北)

不安でいっぱいだった12日間はあっという間に過ぎました。一番大変だったのは会話。会話をするのにこんな苦勞するのは初めてでした。でも、日本のことを質問してきて会話になると嬉しかったです。

コーディネートターのSue(マー)との出会いは、この旅の中で一生ものの出会いでした。彼女のお陰で不安な気持ちを受け止めてくれて、本当に心強かったです。そうしななか、次第に英語に慣れて何となく分からはじめると会話も楽しくなりました。

Sueと別れるときはすごく悲しかったけど、今度はもっともつと勉強して改めてリードリー市に行きたいと思いました。一緒に行った5人にとっても感謝しています。



憧れのポリスマンと  
最後にこんな  
いい経験をさ  
せていただき  
た皆さんに感  
謝したいと思います。

言葉では  
言い表せない12日間



橋本亮一さん  
(本海野)

言葉では言い表せない充実したホームステイでした。初めて見る景色、出会う人にビックリし、多くのことを学びました。なかでも一番印象に残っているのは学校生活での友達との交流・勉強です。初めて会うのに大歓迎してくれ、会話の中では僕の話聞き取ろうとする姿勢に友達やホームステイの皆さんの温かさを感じました。ちょっとした発音の違いで意味が違ってしまいう英語。自分の気持ちや思っていることを伝えられないことは本当に悔しかったです。

今回のホームステイでは、世間や日本、アメリカに対する自分の考え方が変わったような気がします。次回アメリカに行く機会があれば、もう一度お世話になった人たちに会いに行きたいです。家族を含め、お世話になった全ての人に感謝します。



ラジオ番組に生出演。  
全員が英語で  
お話を聞か  
せていただき  
ました。

ハートをぶつけた  
12日間



濱田貴嗣さん  
(田中)

僕はこのホームステイに参加して本当に感動の毎日でした。自分の中で「ホームステイをやってみよう！」という好奇心は抑えきれず、リードリー市は果たしてどんなところなのか不安もありましたが、無事終えました。

ホームステイ先ではいろいろなことがありましたが、とても楽しい日々を過ごしました。12日間を振り返ると、日本との文化が違うことや分からなかったことを、自分の持っている英語の全てを使って相手に伝えようと努力し、現地の人たちと触れ合うことに専念しました。これが意外に伝わり、思った以上にハートが大切なんだということが体感できたように思います。こうした体験ができたことは、両親や友好協会の皆さんをはじめ関係する皆さんのおかげです。この体験を多くの人たちに繋げていって欲しいと思います。



おいしそうにターキー  
(七面鳥)をガブリ！

念願の  
ホームステイを体験



渡辺めぐみさん  
(常田)

私はこのホームステイに参加できてとても嬉しいです。中学のときからずっと「リードリー市ホームステイ」に参加したいと思っていました。はじめての外国の体験・・・行く前は少し簡単に考えていましたが、実際には少しスピードがはやいし、聞いたことのない単語が出てきたり、話をしている意味がわからなかったり・・・もつと勉強して、また来ようという目標ができました。

アメリカにいた10日間はとても短かく感じました。ホストファミリーとSueには本当に会えて良かったです。「今度来るときは、1年来て〜」と言っていました。アメリカに家族ができたみたい

です。日本にいたら絶対に出来ない経験や体験をさせてもらい、関係する全ての人たちに感謝しています。



お世話になったSueさんと  
最後のお別れ  
です。